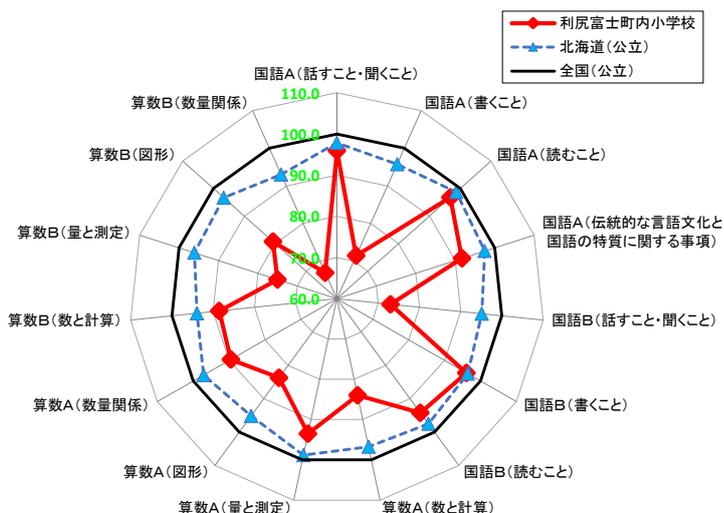


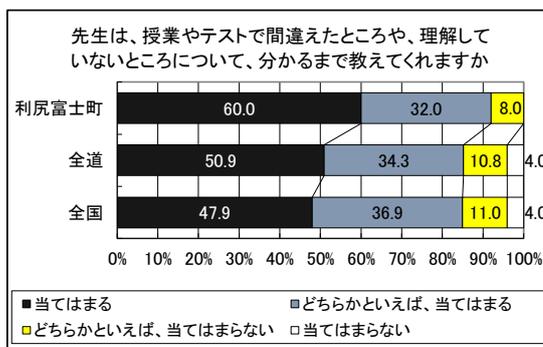
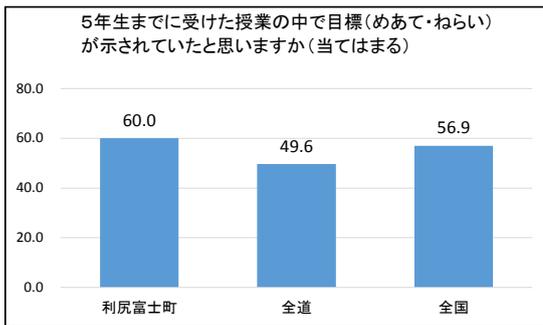
■利尻富士町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:25名)

【教科全体の状況】

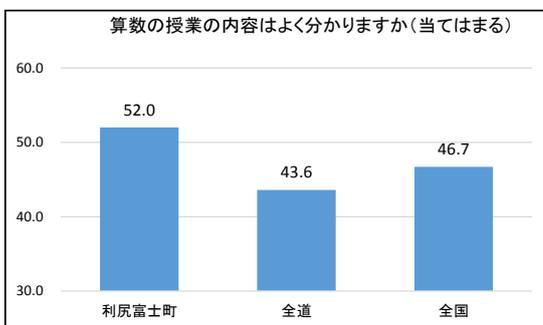
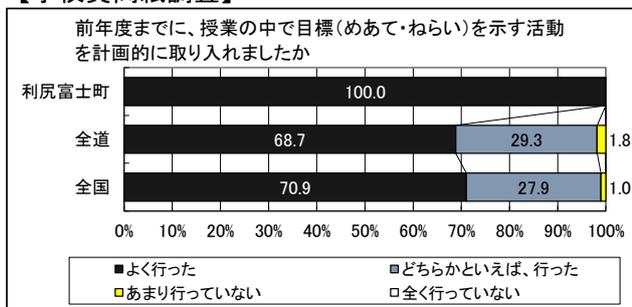
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、国語Bでは「書くこと」で、全国とほぼ同様となっている。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいませんか」という質問に、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の授業の内容はよく分かりますか」という質問に、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか」という質問に、すべての学校が「よく行った」と回答している。
	○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す取組を教職員で共通理解を図って行ったことにより、児童が見通しをもって学習に取り組み、教科に関する調査で国語Aの「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、国語Bの「書くこと」で全国に近づく結果につながったと考えられる。 ○ 授業やテストで間違えたところや、理解が難しい内容について、繰り返し指導する機会を設定したことにより、算数の授業の内容がよく分かったと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

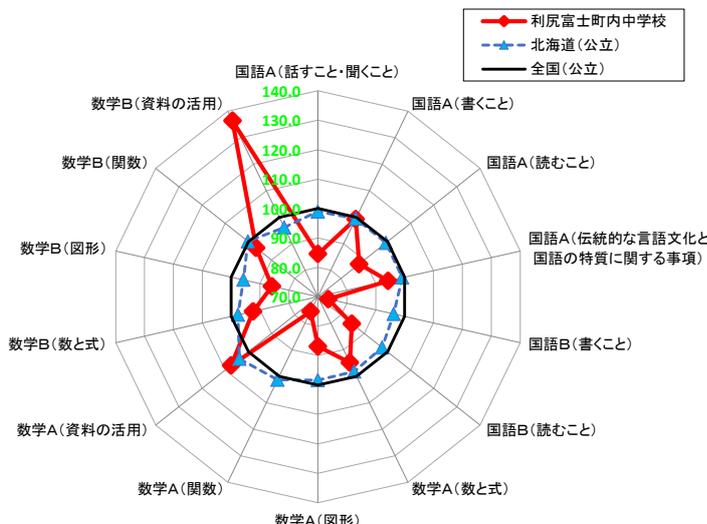
【利尻富士町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく個に応じた指導の改善・充実
- ◎ 放課後子ども教室や長期休業を利用した「チャレンジ教室」の開催
- ◎ 利尻富士町教育研究会と連携した授業公開や課題別分科会の開催

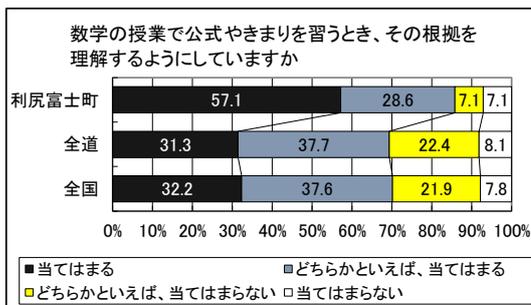
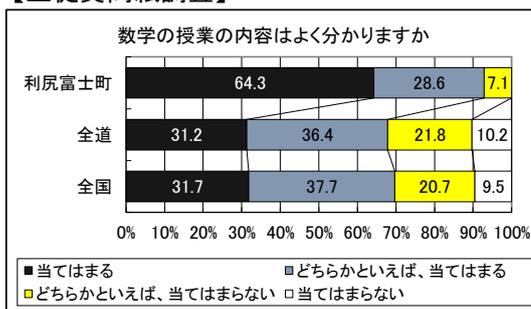
■利尻富士町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:14名)

【教科全体の状況】

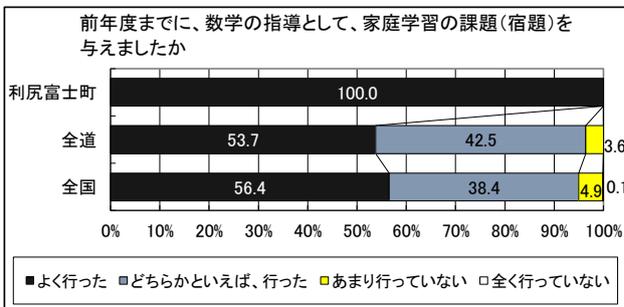
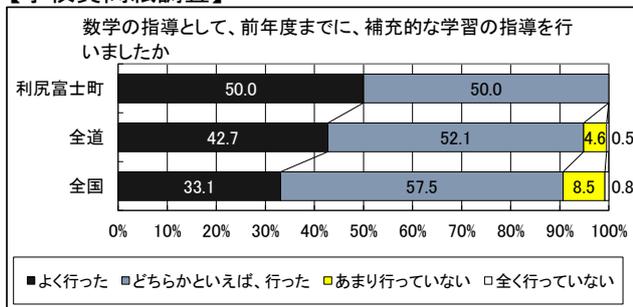
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	生徒質問紙	学校質問紙
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学A・Bとも「資料の活用」で、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かりますか」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、補充的な学習の指導を行いましたかという質問に、「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」という質問に、すべての学校が「よく行った」と回答している。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A(話すこと・聞くこと)から国語B(読むこと)まで、ほぼ全領域で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A(話すこと・聞くこと)から国語B(読むこと)まで、ほぼ全領域で全国を上回っている。

【利尻富士町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく個に応じた指導の改善・充実
- ◎ 放課後子ども教室や長期休業を利用した「チャレンジ教室」の開催
- ◎ 利尻富士町教育研究会と連携した授業公開や課題別分科会の開催